

森正一

もりしょういち

活動報告 第35号

発行日 令和2年7月13日 / 発行者 もり正一後援会 (討議資料)
連絡先 館山市八幡277-19 / TEL 090-2652-3218
ホームページ <http://www.awanew.com>



森正一 プロフィール

- ・昭和42年5月17日生まれ、53歳
- ・北条小、三中、安房高、東北大学工学部卒
- ・館山市議会議員、現在3期9年目
- ・文教民生委員会委員
- ・たてやま21・緑風会会派代表
- ・北条FC代表、館山市サッカー協会監事

はじめに

令和2年第2回館山市議会定例会が6月9日から26日までの会期で開催され、行政一般質問では、「第三中学校校舎の建て替え、第二中学校と第三中学校の統合等について」、「新給食センター完成の遅れについて」、「避難所における新型コロナウイルス対策について」など5項目について質問しました。また、補正予算質疑の内容などについても併せてご報告させていただきます。

行政一般質問

質問・回答要旨・所感

1



第三中学校校舎の建て替え、第二中学校と第三中学校の統合等について

Q1) 昨年の台風被害や新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、三中校舎の建て替えスケジュールに遅れは生じないのか？

A1) 校舎建て替えに向けた実施設計については、一般競争入札を実施し、業務委託契約を締結したところであり、当初のスケジュールどおり実施していく。

Q2) 新型コロナウイルスの感染拡大が終息しない中、二中と三中の統合スケジュールや統合のタイミングについて、現在、どのような検討をしているのか？

A2) 本議会に館山市立中学校設置条例の一部改正条例議案を提出しており、本議案が可決され次第、令和3年4月の統合に向け、当初のスケジュールに遅れないよう準備を進めていきたい。

所感

実施設計に関する委託契約が締結され、また、二中と三中の統合についても、令和3年4月の統合に向け、当初のスケジュール通りに準備が進んでおり、ひとまず安心しました。しかしながら、昨年の台風と新型コロナの感染拡大の影響により、9月から稼働予定だった新学校給食センターの完成時期の目途が立っていない現状に鑑みると、今後予想される新型コロナの感染拡大の第2・第3波の影響により、スケジュールに遅れが生じる可能性も考えられ、二中と三中の統合、そして、新校舎の完成とともに楽観視できない状況です。

生徒や学校関係者の命を守ることが最優先であり、学校規模が大きくなることを踏まえた新型コロナ対策を万全

に行いながら、当初の予定通りに統合と新校舎の建設を完了できるよう最大限の努力していただき、議会だけではなく、児童生徒や保護者、地域みなさんに、進捗状況などの情報提供を随時行うよう要望しました。

行政
一般質問
2

質問・回答要旨・所感



新給食センター 完成の遅れについて

Q1)いつから稼働できる見通しなのか？

A1) 昨年の台風被害による工事の遅れに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、建築資材や設備の調達等に影響が出ている。現在、建築資材等の納入時期について業者等に問い合わせているが、明確な回答が得られておらず、完成時期の見通しは立っていない。

Q2) 新給食センターが稼働できるようになるまでの間、引き続き簡易給食を継続することになるのか、それとも何か別の方策を検討しているのか？

A2) 新学校給食センターが稼働するまでは、簡易給食を継続する方針である。令和2年9月の稼働開始の予定が台風被害及び新型コロナウイルスの影響で遅れてしまい、保護者の皆様には御家庭での負担を引き続きお願いすることになるが、早期稼働に向け最大限の努力をしていく。

所感

働きながらお子さんのお弁当を作っているご家庭も多く、『もう限界だ』という声が聞かれる中、『新学校給食

センターの完成時期についての見通しは立っていない』と言う説明だけでは到底納得できません。夜勤明けでお弁当を作り、あとから学校に届けているご家庭もあると伺っています。保護者のみなさんは、9月からは学校給食が始まると期待してこれまで頑張ってきたことと思いますが、この先いつまでこの状況が続くのか見当がつかないということであれば、モチベーションを維持できないのではないのでしょうか。また、これからは食中毒の危険が高くなりますが、新型コロナの影響で夏休みが大幅に短縮され、持参したお弁当やおかずをお昼まで教室内で保管しておくことが本当に安全なのか、不安に思う保護者も少なくはないと思います。食中毒対策を取るとともに、1日も早く保護者の負担を解消し、子どもたちに安全でおいしい給食の提供を再開できるよう強く要望しました。

行政
一般質問
3

質問・回答要旨・所感



避難所における新型 コロナウイルス対策について

Q) 避難所における新型コロナウイルス対策としてどのような検討をしているのか？

A) 3密を防ぐことが重要であり、3密のリスクが高まる避難所だけではなく、土砂災害や浸水の危険が少ない場合は在宅避難や親戚・知人宅への避難も選択肢に加えていただきたい。市が設置する避難所としては、小中学校の体育館等、利用空間の大きな施設を初動で開けることとした。さらに、避

難する方にはマスクや消毒液、体温計等の持参をお願いし、避難所内では市の担当職員がチェックリストを使用して避難者の健康状態の確認を行い、ダンボール衝立により避難家族ごとの間仕切りをつくり、室内換気用の大型扇風機を設置するなど感染防止対策に取り組む。また、体育館で収容しきれない場合や室温が高くなる場合には、エアコンのある各教室等の使用も視野に入れ、避難者が当該施設の収容人数を超える場合には、早めに避難所を増設していく。

所感

過去の災害でも、避難所で感染症の感染拡大が発生した事例があります。東日本大震災では、岩手県内の避難所で数十人規模のインフルエンザ患者が出

たほか、4年前の熊本地震でも、南阿蘇村の避難所を中心にノロウイルスやインフルエンザの患者が相次いで確認されています。「昨年の台風や県から示された新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、既存の避難所運営マニュアルの見直し作業が完了次第、避難所運営を担う市職員や市民のみなさんに周知を図っていく」とのことではありますが、新型コロナの流行下における避難所運営はこれまで経験がなく、また、これを想定した避難所の運営訓練もできていないことから、今後、実際に災害が起きた時が初めての経験になるため、市民向けの避難所マニュアルを早急に完成させ、配布することなどを提案しました。

行政
一般質問
4質問・回答要旨
・所感

子どもの予防接種について

Q) 新型コロナの影響により、子どもの予防接種の接種率の低下が懸念されているが、館山市における状況は？ また、接種期限を超えてしまった子どもへの対応は？

A) 4月中に予防接種を受けた子どもの数を単純に昨年と比較すると239人減少している。また、5月末までに接種期限を迎えた子どものうち、4月末時点での未接種者は20人であった。接種期限を超えてしまったケースについては、保護者や医療機関から相談があった場合には個々のケースに応じて対応していく。特に、乳幼児については感染症に罹患するリスクが高まることから、予防接種を実施する医療機関等の協力を得て個々のケースに応じて適切に対応していく。

所感

定期予防接種の対象となっている病気は命や健康に大きな影響をもたらす重大なものばかりで、根本的な治療法がなかったり、後遺症が残ってしまうものも多く、感染症にかかる前に予防接種をする事が極めて重要です。市では以前から接種期限が迫っている未接種者に対し、接種を促す通知や電話連絡をしているとのことですが、この新型コロナの終息が見えない中、予防接種を受けられない子どもが発生しないよう、積極的に予防接種の呼びかけを行い、新型コロナへの感染を恐れて接種期限を過ぎてしまったケースに対しては予防接種法の特例規定を適用し、保護者の自己負担が発生しないよう、柔軟な対応を強く要望しました。

補正予算質疑の中から

①避難所における新型コロナウイルス感染症予防対策（予算額約1,450万円、国費90%）

災害時の避難所運営において、新型コロナウイルス感染症予防対策に必要な備蓄品として、ダンボール衝立、エアベッド、毛布、簡易トイレ、パーソナルテント、大型扇風機、発電機、除菌マットを購入します。高さがある段ボールベッドは感染予防に効果が期待されており、今後ダンボールベッドの購入についても検討することを提案しました。

②証明書等コンビニ交付事業（予算額約370万円、国費90%）

全国のコンビニ等において、マイナンバーカードを利用して住民票の写し等の各種証明書を取得できるサービスを導入し、利便性の向上と窓口の混雑緩和（新型コロナ対策の一環）を図ります。交付開始時期は令和3年3月ごろを予定しています。

③キャッシュレス決済ポイント還元事業（予算額6,000万円、国費90%）

市内の商店等や宿泊等観光関連施設でキャッシュレス決済した場合に決済額の20%のポイントを還元します。1ヶ月につき還元額の上限が5,000円、事業期間3ヶ月を予定しています。スマホをお持ちでない方やキャッシュレス決済の方法がわからない方にとっては不公平になるため、キャッシュレス決済に関する講座等の開催やプレミアム商品券の発行なども行います。

④市街地循環バス実証運行事業（予算額約1,300万円、県費300万円）

市街地における回遊性や利便性の向上を図り、持

続可能で利便性の高い公共交通ネットワークを構築するために行います。館山駅から概ね2km圏内を南北2ルートで周回し、それぞれ15から20カ所、市役所、渚の駅、コミセンの他、医療機関や大型商業施設等に停留所を設置します。期間は1月から2か月間を予定しています。

⑤産業廃棄物（ブルーシート）収集業務（予算額約315万円、全額一般財源）

昨年台風被害に伴い被災した家屋等の復旧作業に使用したブルーシートを収集・処理をします。各地区公民館において、9月末に1週間程度の収集期間を予定しています。市が配布したもののほか、個人で購入したものも収集対象になります。

⑥プレミアム商品券事業（予算額6,530万円、全額国費/一人あたり購入上限額5万円）

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の早期回復を図るため、館山市商業協同組合が実施するプレミアム商品券事業の補助を行うもので、6,000万円が20%のプレミアム分、530万円が事務経費の一部負担に充てられます。館山市商業協同組合からの提案では、館山市民だけではなく近隣市町の方も購入できるとのことでありましたが、館山市民または在勤者が優先的に購入できる仕組みにすることを強く要望しました。

※詳細につきましては、後日、市の広報やホームページ、地元紙等でお知らせがありますので、ご確認をお願い致します。

終わりに



昨年の台風被害からの復旧・復興がなかなか進まない中、年明けからは新型コロナウイルス感染症の感染拡大により更なる追い打ちを受け、飲食・観光業を中心に多くの事業者が事業存続の危機に直面しています。市の財政状況が厳しい中ではありますが、議会として何ができるのか考

え、行動に移していかななくてはならないと考えています。

これからも市民の皆さまの声を市政に反映していきたいと思っておりますので、ご要望・ご提案などありましたら遠慮なくお申し付けください。館山市の抱える様々な問題や課題の解決へ向け、議会質問などを通して粘り強く要望・提案をして参りますので、これからも温かいご支援とご指導をよろしくお願いいたします。